

第15期 平成27年度 活動報告

1. 市民協働の支援事業

(1)協働のまちづくり支援(専門家派遣)

地域づくりサポートとして協働のまちづくりに必要な人材育成講座の講師の依頼があり、以下の講座の講師を派遣した。

- －浜松市市民協働センターが主催する「ファシリテーター養成講座」の講師（山内）
- －袋井市ぷらっと主催「協働コーディネーター養成講座」9/13、10/25 2回の講師：（山内）

(2)三遠南信住民ネットワーク協議会の運営支援 ※継続

- －住民ネットワーク協議会の遠州側の世話人として世話人会（年5回）に参加した。
- －「祭り街道」をテーマとする街道連携事業や三遠南信の産品を紹介する互産互消のアンテナショップの推進（SENAの補助金の他、国土交通省からの業務委託に協力した）
- －三遠南信サミットin東三河（2016/2/15）住民セッションの企画・運営
3月以降は南信州開催に向けて南信州に協議会事務局が移った
- －今後の三遠南信祭り街道連携の進め方について、国土交通省と協議・調整した。

2. 環境保全の支援事業

(1)はまなこ環境ネットワーク関連業務(委託業務) ※継続

①浜名湖情報交流事業（通年）

- －環境保全団体等の活動団体情報の収集、団体情報の更新（広報誌等の取材を兼ねる）
- －浜名湖周辺の環境情報（データ）の収集、整理→県が県のHPで紹介
- －広報誌作成、配布（3回発行）
- －ブログ配信（登録団体情報の収集・更新を含む）、メーリングリスト配信ほか

②浜名湖環境教育プログラム実施業務（浜名湖エコキッズ体験塾2回）

親子で環境についてフィールド学習する事業の企画・募集・運営を行った。はまなこ環境NWの登録団体の活動現場でプログラムを体験した。

- －第1回 8/ 8（土）：弁天島（干潟の生き物観察、刺し網漁体験ほか）船利用
- －第2回 9/12（土）：都田川（上流域探検、都田川流域の生き物観察、水質検査体験）バス



第1回弁天島 刺し網漁の体験・干潟のいきもの観察他



第2回都田川の上流～下流の探訪ツアー（都田ダム、久留米木の棚田、滝沢キャンプ場、みやこだ自然学校他）

③浜名湖エコワークショップ・環境保全団体交流会

- －浜名湖環境調査（12/10・12/20 事前調査2回、2/2 陸側・船上から湖岸・湖底調査1回）
浜名湖各所の湖岸に漂着・打ち上げられた海藻やゴミ等の現状、湖底の海藻（アマモ場）の状況を調査（冬バージョン）した。各ポイントでの水質検査も行った。
- －2/20 環境保全団体が情報交換し、活動発表の交流会を開催した。



浜名湖環境調査



環境講演会、団体の活動発表、浜名湖の恵み試食会・交流会

(2) 浜名湖アマモ利用プロジェクト(はまなこ環境NW事業)

- －浜名湖のアマモ・アオサ（海草）に関する循環の仕組みづくりを継続し、湖岸に漂着したアマモ等を畑の堆肥として活用し、市民啓発と再利用の拡充・定着化を図る。
- －7/19（日）アマモ回収作業（鶴山寺サンビーチ海岸）

- 9/4 (土) アマモ堆肥による野菜づくり (浜松市西区村楯町)
- 1月下旬 アマモ堆肥で育てた野菜の収穫 (浜松市西区村楯町)
- 庄内小学校でアマモ利用の野菜づくり学習への協力



湖岸に打ち上げられたアマモ回収作業 (館山寺)



アマモを堆肥として活用し、畑で大根の種まき (村楯)



12/20 アマモで育てた野菜の収穫 (村楯)



10/8 小学校でアマモの野菜づくり指導 (庄内小)

3. 地域文化の伝承・景観形成の支援事業

(1)ぐるり富士山風景街道に関する取組(自主事業)※継続

①朝霧地区景観形成ワークショップ会議 (7月・10月・3月の3回実施)

- 10/24 (土) 朝霧のコンビニにてゴミゼロ啓発、白糸の滝案内所付近プチメンテナンス



観光案内施設前の防護柵塗り替え作業



各コンビニでゴミゼロ活動を啓発・ごみ持ち帰り袋配

布

② HPの維持管理

③ ぐるり富士山風景街道一周清掃2015の企画・実施

- ーぐるり富士山一周清掃月間：10月1ヶ月間
- 期間中、45団体・約4000人が参加
- ー重点区間清掃：10/24（土）静岡県側 朝霧高原
- ークリーン&トレイルウォークの実施（一般募集）



ぐるり富士山風景街道一周清掃セレモニー（朝霧高原）



重点区間一斉清掃（静岡新聞等で紹介）

(2)富士山の包括的な道路景観管理社会実験の継続検証(自主事業・役務)※継続

- ー住民や地域の事業者、来訪者、富士山を愛する人などが富士山の景観を維持するための「道路の景観管理」の仕組みづくり社会実験の定着化のための継続検証を行った。
- ー現地での景観管理実験：第1回目の除草 7月11日（土）、25日（土）
- 第2回目の除草 10月
- ー7/28 ボランティアサポートプログラムへの登録・協定締結（国、富士宮市、協議会3者）
- ー当NPOは富士山朝霧高原景観管理協議会の事務局としてその企画・調整運営と事務局など中核的な業務を担った。



ボラサポの協定締結（支援）
道路管理者・維持業者との協働



道路の草刈作業



- ー富士宮信用金庫の助成金申請、実施
- ー読み終えた本による寄付「BOOK募金」、企業からの寄付金
- ー8/22～23 長渕剛コンサート会場で協力金の募金活動
- ー道の駅でシーニックマルシェの開催

※H28年4月より道路法改正により「道路協力団体制度」が創設（朝霧の取組が直接的に影響）



長瀬剛コンサート会場で募金（ふもとっばら） 「道の駅」朝霧高原でマルシェ（とん汁・野菜販売）



前年度の社会実験で「道路協力団体制度創設」の提案が実現

(3) 国道138号景観形成ワークショップ(委託)※継続

ー富士山の山麓を走る国道138号の景観を形成するため、住民・事業者・行政等が協働して活動を企画・検証するワークショップを小山町2回、御殿場3回企画・運営した。

ー対象地は国道138号の小山町須走地区及び御殿場（IC～R246までの間）の2ヶ所。

- ＜小山町須走＞ 6/25(木) 第1回まちづくり協議会主催ワークショップ会議
- 10/18(日) 第2回活動プログラムの実施(ガードレールの塗装、草取り)
- 1/7(木) 第3回ワークショップ会議
- ＜御殿場市＞ 9/2(木) 第1回ワークショップ会議
- 11/17(火) 第2回活動プログラムの実施（花植え、草刈ほか）
- 1/13(水) 第3回ワークショップ会議



R138小山町と須走口登山道付近のガードレール塗装



R138御殿場IC出口周辺 プランターに花植え



R138御殿場IC出口周辺草刈・清掃作業

(4) 東海道2峠6宿風景街道に関する取組(自主事業・委託)

ー2峠6宿のまち歩きに関する情報等の提供を行うとともに、歩きやすい環境を整えるための美化活動や環境整備を行った。

①組織の運営 : 静岡二峠六宿街道観光協議会の運営(自主事業+静岡市から協議会に助成金)

○6月1日に総会の実施

②運営資金の確保 : 道のエコミュージアム基金の管理(自主事業)

③ウォーカーへの情報発信 : HPの維持・マップの作成

○中国語、韓国語パンフレットの増刷

④磨き上げ事業 : どこからでも富士山道、プチメンテナンス

○宇津ノ谷峠環境整備

○つつじ通りプチメンテナンス

⑤2峠6宿情報発信

○徳川家康公400年顕彰事業 泰平祭りへの協力

○府中宿静岡祭り、丸子宿宿場祭りへの出店

○全国発信イベント「撮りにおいでよIN宇津ノ谷」の実施

(5) 清水次郎長生家の管理運營業務（補助事業）

- －清水次郎長生家を保存するため、静岡市より補助を受けて管理運営を行った。
- －3名のパート職員による運営（施設管理、説明、物産販売）。
 - 新商品の開発
 - 県、市のイベント事業の参画・学校、民間団体の受入れ
- －「次郎長生家を活かすまちづくりの会」や清水の経済人等と一緒に生家の保存活動を展開し、保存修復や募金活動を行った。
 - 生家リニューアルP Jの基本設計・実施設計等の作成⇒リニューアルへの調整
 - 所有者等との調整
 - 登録有形文化財への申請

(6) ふじのくに日本風景街道支援センター運営（自主事業）

- －静岡県内の日本風景街道ルートの連携を図り、各ルートの活動が活発化するための情報提供や交流に取り組んだ。
- －日本風景街道「なごみの道・なごみの伊豆」の事務局として支援した。（担当：坂野理事）
- －浜名湖サイクルツーリズム風景街道の取組みを支援し、パートナーシップ組織の改編を支援した（具体的な事業は観光まちづくり・地域振興支援事業により実施）。
- －全国組織であるNPO法人日本風景街道コミュニティの「みちのコミュニティシンクタンク」の事務局を当法人浜松事務所に置くことになった。

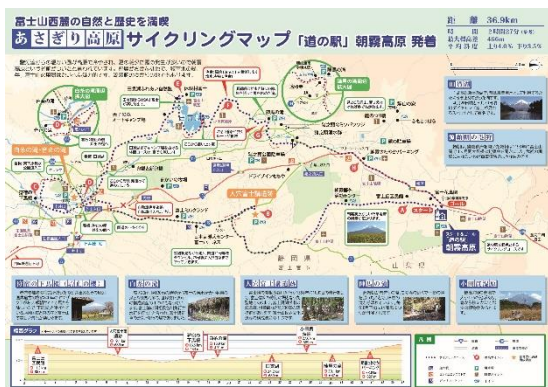
4. 観光まちづくり・地域振興支援事業

(1) 中部ブロック「道の駅」連絡会事務局（受託事業）

- －中部ブロック「道の駅」連絡会事務局の静岡県担当として関わった。
- －総会（1回・名古屋）、役員会（1回・名古屋）、駅長会議（1回・名古屋）
- －12/17 静岡県道の駅活性化会議（会場は湖西市内）を開催。事務局として運営。

(2) ぐるり富士山風景街道資料作成業務

- －風景街道の広報資料を作成や朝霧高原景観管理協議会や風景街道の連携会議等を運営した。
- －静岡県・山梨県の富士山周辺の道の駅により、「富士山周辺道の駅ネットワーク意見交換での風景街道の活用（サイクリング等）をとりまとめた。
- －朝霧地域の景観管理活動（昨年度の社会実験）の定着化に向けた継続検証の記録を作成した。
- －風景街道をPRする広報資料（パネル等）を作成し展示及びアンケートをとった。



道の駅朝霧高原を起終点とするサイクリングマップ



2峠6宿のパネル作成・展示PR

(3) 浜名湖魅力発信業務(静岡県委託業務) ※継続

① ホームページの管理・更新

- － 浜名湖の自然、歴史、文化、観光、まちづくりなど地域資源を活かして、浜名湖の魅力を発信する活動や団体を紹介するホームページの管理・更新を行った。
- － 登録団体の新規登録の掘り起しを行った。

② 交流発表会の企画・実施

- － 静岡県西部地域政策局が、浜名湖周辺で活動している団体の連携を促進するための「浜名湖魅力発信隊交流会」を受託し、1/16(土)みをつくし文化センター(浜松市北区細江)において交流会を実施した。
 - ・ 気賀宿まち歩き(エクスカーション)
 - ・ 浜名湖連携モデル事業の発表会
 - ・ 団体の発表会
 - ・ 交流会



(4) 浜名湖サイクルツーリズムの受け皿整備計画 ※新規

① 浜名湖観光圏事業による整備計画

- － 浜名湖サイクルツーリズムの推進会議のメンバーとして関わり、サイクリストの受入れ環境をソフト・ハード面で整えていくための研究・計画づくりを作業部会での検討や推進会議のとりまとめを行った(一部試行)。
- － この取組は浜名湖観光圏の事業の一環で行った。
 - ・ サイクリング情報提供、サイクリングコース(マップ含む)、新しいイベント企画
 - ・ 官民によるサイクリングの受入態勢の整備



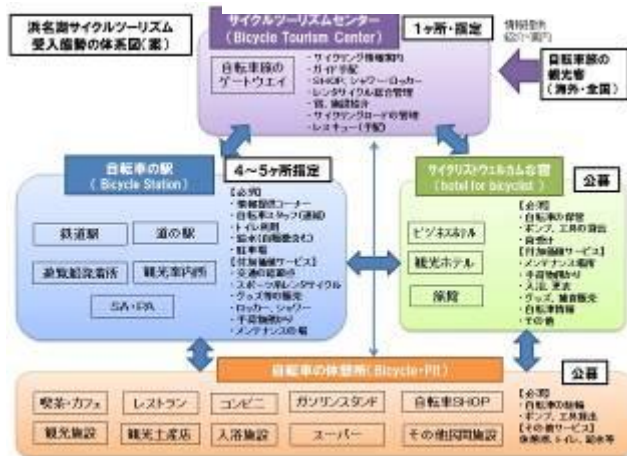
サイクリングマップやHP作成



自転車の休憩所の仕組みづくり



ハイチイベントのガイドライドを企画・試行



浜名湖サイクルツーリズムの受入態勢

②国土交通省社会実験「浜名湖サイクリングロード社会実験」への支援

ー浜名湖サイクルツーリズムを進めるために、東名浜名湖SAで舟運と自転車及びサイクリングロードをつなぐための仕組みづくりや道路空間の再配分に関する社会実験にエントリーし、実施主体組織の事務局となり、実験の企画・調整、実施、検証、精算に関わっていった。



浜名湖SAで自転車を移動・外へ



船で浜名湖サイクリング





国道1号側道橋の自転車・歩行者再配分



自転車ミュージアムの開設

料金所跡をサイクリング駐車場に活用

(6) 東海道歴史街道二峠六宿まち歩き観光推進計画策定業務(委託) ※新規

ー東海道歴史街道二峠六宿の地域資源や活動等を整理し、その基本的な仕組みを整えるとともに、地域の実情やニーズを把握し、まち歩き観光地域づくりに必要なストーリー作りを行い、8年後を見据えた中長期にわたるまち歩き観光推進のアクションプランとしての「東海道歴史街道二峠六宿まち歩き観光推進計画」を策定した。

- ① 東海道歴史街道二峠六宿に係る現況調査業務
- ② まち歩き観光地域づくり活動団体ヒアリング調査（10団体程度）
- ③ まち歩き観光推進ワークショップ会議の実施
 - ー蒲原宿・由比宿・興津宿、丸子宿2回、江尻宿、丸子宿1回
- ④ 東海道歴史街道二峠六宿まち歩き観光推進計画(観光プログラムメニューの作成)
- ⑤ 有識者会議の開催及び情報提供の実施（2回程度）

(7) 三島商工会議所 地域力活用新事業∞全国展開プロジェクトへの参加 ※新規

ー三島市は東海道、下田街道、甲州街道の東西南北軸の往来の拠点であり、四ツ辻文化が残っている。三島商工会議所が日本商工会議所の地域力活用新事業∞全国展開プロジェクトとしてその四ツ辻文化を象徴する資源を掘り起し、新四ツ辻文化名物の商品開発を行うプロジェクトに専門委員として参加した。

ーNPO法人全国街道交流会議と連携して実施し、街道観光として箱根八里の連携を提案。

(9) 「徳川家康公顕彰四百年記念事業市民参画認定事業 ※新規

「家康公の墓参り」～正しい参拝のすすめ～

ー家康公のご遺骸は日光東照宮ではなく久能山東照宮にあるということをPRすることを目的に毎月毎月命日（17日）に久能山に墓参りに行くツアーを5月～12月まで企画・実施した。

(10) 「花木の里づくり」運營業務※新規

日本風景街道「なごみの伊豆 なごみの道」の拠点地区である、下田市、河津町の伊豆縦貫自動車道や国道414号沿道地域において、「花木の里」づくり活動の一環であるフォーラム運営補助業務を実施した。

- フォーラムの企画・準備（広報資料作成等）
- フォーラムの実施の支援（会場設営等）
- 開催日 平成28年2月5日（金）
- 会場 河津町バガテル公園オランジェリー



「花木の里」づくりプロジェクトフォーラム

「花木の里」づくりプロジェクトフォーラム

平成28年

日時 2月5日(金)
13:30～15:30（開場13:00）

会場 河津バガテル公園オランジェリー

定員 100名 入場無料

◆ 舞台としての道路
国土交通省沼津河川国道事務所長 梅村 幸一郎

◆ 全国事例紹介
“みち”と地域づくり
～シーニックハイウェイ北海道や北海道ガーデン街道を事例として～
報告者:原 文宏氏 (一社)シーニックハイウェイ支援センター代表理事
(一社)北日本運輸局センター 運輸地域政策研究部長
NPO法人日本風景街道コミュニティ運営

◆ ワークショップ報告 ◆ イメージパースの紹介
※「花木の里」づくりプロジェクトは平成26年12月に設立し、伊豆縦貫自動車道の整備に伴い、国道414号沿道地域を中心に「花木の里」づくりを推進し、沿道地域の活性化と里山の振興を図るを目的に活動しております。

主催 「花木の里」づくりプロジェクト協議会
事務局 下田商工会議所内 TEL(0558) 22-1181
後援 国土交通省沼津河川国道事務所、静岡県下田土木事務所、下田市、河津町

5. 安心・安全なまちづくり支援事業

(1) ジャパンプラットホーム「共に生きる」ファンド震災復興支援事業(公募・助成金)※継続

—静岡県内への避難者の生きがいづくりや地域に馴染むための支援活動を行った。支援活動に対し、支援スタッフを雇用して実施した。

●「広域避難者見守り・生きがい創出支援プロジェクト」 4月20日～3月19日 11ヶ月間

- 避難者への声掛け、相談、拠り所となるサロン「ひだまり」の運営※継続事業
- 避難者交流会：3回（5月浜松まつり交流会、7月フリマ交流会、11月ミカン狩り交流会）
- 避難者と避難先の住民との交流会：3回（掛川友引カフェ出展、浜松市自治会文化祭、コンサート記念品づくり）
- 絆交流会（3月1回演奏会、フリーマーケット復興商品販売、せんべい汁振舞い）
- 静岡県西部地域の避難者への広報誌「虹のおたより」編集・発行(隔月・6回)



広報誌 虹のおたより写真

(2) ふるさとふくしま帰還支援事業(公募助成金) ※継続

期間 6月1日～平成28年3月31日

- 避難者見守り支援活動（期間中随時）
 - 電話での近況伺い、ニーズの聞き取り
 - 避難者のお宅訪問・面談（延べ7回:静岡県内）
 - 相談受付・情報提供（就労・子育て・避難先でのお役立ち情報、福島民報の閲覧等）



避難者宅の個別訪問・面談

○ 交流会の企画・実施

- －避難者交流ツアー（1泊 10月 奥浜名湖、舘山寺 26人参加）
- －避難者ミニ交流会（6月、9月、12月：3回）
- －12月クリスマス会
- －絆交流会（3月1回：避難者による演奏会・避難者×支援者の懇親会）

○ 掛川市で活動する「ふくしま絆の会」へのサポート：交流会、掛川の駅前通り「友引ストリートカフェ」に出展・PRのサポート



クリスマス交流会



避難者絆コンサート



避難者からのお礼の品贈呈

(3) 県外避難者情報拠点「みやぎ避難者帰郷支援センター」運営業務(委託)※新規

期間 7月21日～平成28年3月31日

- －宮城県からの依頼により、震災の影響で宮城県から東海4県への広域避難者に対し、生活再建や帰郷に向けた情報収集及び相談ができる拠点を設置するとともに、相談窓口（電話相談を含む）を開設する。支援センターは当NPOの浜松事務所内に置いた。
※東海4県への宮城県からの避難者は521名・283世帯（うち静岡県172名）
- －避難者の交流会や相談会を各2回開催した。
・名古屋市11月、浜松市1月）。
- 名古屋市内での交流会・相談会は、「愛知県被災者支援センター」等の協力を得ながら行った。
- －支援機関（全国7地区）の連絡調整会議及び被災地視察への参加（宮城県内での開催：3回）



東日本大震災により宮城県から東海地区へ避難されている皆様へ

宮城県避難者交流会・相談会(浜松会場)のご案内

(宮城県「県外避難者支援拠点設置事業」)

宮城県では、東日本大震災により被災し、県外へ避難されている方が、身近な地域で生活再建や帰郷に向けた情報収集と相談援助等の支援が受けられるよう、静岡県浜松市に「みやぎ避難者帰郷支援センター」を開設し、「NPO法人地域づくりサポートネット」への委託により運営しています。

このたび、東日本大震災により被災し宮城県から避難され、愛知・岐阜・三重・静岡の各県にお住まいの皆さまを対象に「宮城県避難者交流会・相談会(浜松会場)」を開催いたします。この機会に、同じ故郷の方々とお会い、交流を深めて頂ければと考えておりますので、どうぞお気軽にご参加ください。

日時	平成28年1月17日(日) 13時00分から16時00分まで [12時30分受付開始]
会場	呉竹荘 (くれたけそう) 静岡県浜松市中区東伊場1-1-26 東名高速浜松IC・浜松西ICから車で約30分
会場	復興状況の説明、交流会、個別相談 ※ずんだ餅などのお菓子を用意しています ※参加費は、無料です。

11月22日名古屋会場
交流会の様子

(4) ふれあい基金「避難者ふじのくに体験交流ツアー」(公募助成金) ※継続

- ー静岡県の避難者が少しでも明るく、生きがいを持って暮らしていけるための、交流会を開催した。
- ー浜名湖での宿泊による交流会を開催。
- ー実施：10月3日～4日 国民宿舎奥浜名湖（1泊）
※翌日は、舘山寺温泉や引佐の龍潭寺等を観光



(5)復興支援団体との連携・活動支援(自主事業) ※継続

- ー東北震災を支援する市民団体「SAVE IWATE しずおか」やNPO法人くらしまち継承機構などへの支援と同団体と連携しながら復興支援活動を継続した。

(6)浜松市NPO災害協定ネットワーク会議への参加(自主事業) ※継続

- ー東海大震災に備えて、NPOが復旧・復興の活動の一部を市に代わって担うための浜松市とNPOが災害協定を交わし、ネットワーク構築の研究に参加した。

6.その他目的を達成に必要な事業

(1)静岡地域学会の活動協力(自主事業) ※継続

- ー8/1 静岡地域学会の研究発表会に参加。

(2)日本風景街道大学への参加協力(自主事業) ※継続

- ーNPO 法人日本風景街道コミュニティが開催する「日本風景街道大学（白川郷・五箇山校）」に参加し、全国の風景街道ルートの団体と交流を図り、風景街道に関する情報を収集した
- ー世界遺産に重なる日本風景街道ルートをテーマとするため、ぐるり富士山風景街道と道の駅の連携の取組を事例として提供した。



○日時 平成27年11月6日(木)・7日(金)

○会場 岐阜県白川郷トヨタ自然学校、富山県五箇山

- ーNPO 法人日本風景街道コミュニティには、法人会員として加入し、みちのコミュニティシンクタンクの常任研究員(2名：山内・高木)に登録。